

テレビを見ながら旅すること

松山 秀明

エキシビションとツーリズム研究班 研究員
関西大学 社会学部 准教授

社会学者のジョン・アーリによれば、旅には2種類あるという。一つは「身体的な旅」、もう一つは「イメージによる旅」である。言うまでもなく、前者は実際にどこかに移動をして旅をすることであり、後者はメディアを通して移動せずに旅をすることである。メディアといっても、新聞や写真、映画、パンフレットなどさまざまあるが、なかでもアーリは「テレビ」の重要性を挙げている。テレビとは「イメージによる旅」を生成してきた、戦後最大のメディアである。では、テレビは何を映し、われわれにどのような〈旅〉を提供してきたのだろうか。家に居ながら、われわれはどのような〈風景〉を見てきたのだろうか。

1953年に開局した日本のテレビ局は、まず、日本の〈風景〉を見せることから始まった。TBS『北から南から』（1957～1963）、NHK『新日本風土記』（1960～61）、日本教育テレビ『日本発見』（1961～62）といった紀行番組は、日本各地の〈風景〉をとらえていった。この後、決定的な役割を果たしたのが、NHK『新日本紀行』（1963～82）である。19年間にわたって約800回続いた同番組は、各都道府県の市町村の生活や文化をくまなくマイクロに伝えていった。富田勲による同番組のテーマ音楽は有名である。

もちろん、テレビがとらえたのは日本だけではない。テレビは海外の〈風景〉もとらえていくことになる。TBS『兼高かおる世界の旅』（1959～1990）、NHK『アフリカ大陸に行く』（1959～1960）といった番組は、まだ海外旅行が自由化される前から海外の風景を伝えた。その後、日本テレビ『すばらしい世界旅行』（1966～1990）が、非ヨーロッパ世界の文化をとらえ、アフリカ奥地の部族などを映像におさめた画期的な番組となった。

けれども、しだいにテレビのカメラは世界中を覆っていくようになり、未知なる〈世界〉が少なくなっていく。無論、未知なる〈世界〉が完全になくなることはありえない。しかし、新しい土地を映したとしてもどこか見慣れた風景として、視聴者たちに受容されるようになった。こうしたなかで放送されたNHK『シルクロード』（1980-89）は「地上最後の秘境」と言われ、とうとう日本のテレビは最後の秘境の撮影に成功することになった。では、テレビによる旅は、この後、どうなっていくのだろうか。

その後のテレビは、海外情報をクイズ化するという新しい活路を見いだしていく。フジテレビ『なるほど!ザ・ワールド』(1981～1996)では、未知なる世界を見せるのではなく、海外の風景を情報化し、クイズ化した。ここで重要となるのがレポーターの存在で、海外で見た珍しい風景や文化に対してレポーターがリアクションし、視聴者は楽しんだ。こうして1990年代を頂点として、テレビによる旅は「リアリティ・ショー」へと変質していくことになる。例えば、毎日放送『世界ウルルン滞在記』(1995～2007)では、俳優やタレントが世界各地の家族にホームステイし、「自分探し」をする。日本テレビ『進め!電波少年』(1992～1998)では、若手芸人の猿岩石が突然香港に連れていかれ、ロンドンまでヒッチハイクを命じられる。これらの番組は、テレビが旅の状況を設定し、芸能人たちのリアリティを視聴者が見守るという新しい形態であった。この流れは、『世界の果てまでイッテQ!』のイッテQ登山部、『水曜どうでしょう』の内輪的な海外旅などへと引き継がれていくことになる。

いま、テレビ離れが叫ばれている。これは「イメージによる旅」が徐々に変化しはじめたことも意味している。すなわち、テレビからインターネットへ主たるメディアの旅が変わりつつあるのだ。YouTube、インスタグラム、Googleストリートビュー、VRで、われわれは手軽に〈旅〉をすることができるようになった。こうしたポストテレビ時代の映像ツーリズムの混沌は、もう少し時代を経てからの検証が必要となるだろう。

テレビを見ながら旅すること

2021年9月15日
関西大学経済・政治研究所
エキシビションとツーリズム研究班
松山秀明（関西大学社会学部）

0. はじめに

- ・メディアによる都市のイメージ
- ・「身体的な旅」と「イメージによる旅」（ジョン・アーリ）
- 「イメージによる旅」に寄与した戦後最大のメディア = テレビ

- ・本日のテーマ
：テレビは、何を映し、われわれにどのような〈旅〉を提供してきたのか？

- ・テレビジョン・ツーリズム
= 家に居ながら、「旅を見る」という経験

1. テレビジョン・ツーリズムの誕生

- ・テレビ局の開局（1953年）
 - ・日本放送協会
 - ・日本テレビ放送網
- ・日本の〈風景〉を見たい
 - ・TBS『北から南から』（1957～1963）、NHK『新日本風土記』（1960～61）、NHK『日本縦断』（1961～62）、NHK『続日本縦断』（1962～63）
- テレビジョン・ツーリズムの誕生
：日本各地の生活、産業をとらえる。

- ・日本教育テレビ『日本発見』（1961～62）
 - ・日曜日午前10時からの30分番組
 - ・放送期間：1961.6.4～1962.5.27
 - ・制作：岩波映画製作所、スポンサー：富士製鉄 →通称“地理テレビ”
 - ・「大阪府」（1962年1月15日放送）
 - ・「淀川」（1962年4月30日放送）

2. NHK『新日本紀行』の登場

- ・NHK『新日本紀行』（1963～82）
 - ・約18年間、約800回放送
- ・NHK『新日本紀行』が描いた4つのテーマ
 - ①匠の技 →例えば、宮城県鳴子町のこけし職人など
 - ②風習・風土 →例えば、大阪天王寺の芸人横丁
 - ③祭り →例えば、岐阜県白川村のどぶろく祭り
 - ④家族 →例えば、山形県真室川町のわらべ唄

- ・民俗学としてのテレビ・ドキュメンタリー
 - ・1970年代以降のテレビによる日本の「発見」
 - 宮本常一のまなざしに近い
- ・読売テレビ『遠くへ行きたい』（1970～）
 - ・レポーターに永六輔を起用
 - 「旅人の視線」を新たに加える。

3. テレビの眼は世界へ

- ・TBS『兼高かおる世界の旅』（1959～1990）
 - ・兼高かおるという個性
 - 番組の初期は、おもに南欧、南米、東南アジアを巡る。
 - ケネディ大統領やサルバドール・ダリとも会う。
- ・NHK『アフリカ大陸に行く』（1959～1960）
 - ・1959年11月から3か月半にわたってアフリカを一周。歴訪した国は22か国
 - 1960年より『東南アジアに行く』『中南米に行く』『中近東に行く』、1961年より『北米大陸に行く』を放送。
- ・日本テレビ『すばらしい世界旅行』（1966～1990）
 - ・ナレーター：久米明
 - ：非ヨーロッパ世界の〈風俗〉を撮る。
 - ・特徴①スタッフは地域担当制
 - ②一年の半分は現地で生活・取材
 - ③現地言葉を習得
 - ・プロデューサー：牛山純一
 - 徹底的な“現場主義”
 - ・映像人類学の提唱へ（テレビ番組という枠を超えて、学問的貢献へ）
- ・海外旅行者数の増加
 - ：1964年、海外旅行の自由化。12万人。1972年、100万を突破。1990年、1000人を突破。
 - 未知なる〈世界〉が少なくなっていく。
- ・転換点としてのNHK『シルクロード』（1980-89）
 - 「秘境シルクロードの全容を初めてテレビカメラに収めた、日中共同取材のドキュメンタリー」（『20世紀放送史 下』）
 - 「地上最後の秘境」
- ・とうとう最後の秘境の撮影に成功。
 - 世界中の〈風景〉をテレビカメラの眼が覆っていく。
 - テレビジョン・ツーリズムはどうなるのか？

4. 旅のバラエティ化

- ・海外情報をクイズ化するという新しい活路
- ・フジテレビ『なるほど！ザ・ワールド』（1981～1996）
 - ・全731回、約3000本を超える海外レポート

- ・最高視聴率 36.4%
→未知の世界を見せるのではなく、海外の風景を情報化し、それをクイズ化する
→海外情報クイズ番組の先駆け
- ・重要となるレポーターの存在
→海外で見た珍しい風景に対していかにリアクションし、視聴者を楽しませるか。
→1990年代、テレビ旅のリアリティ・ショーへ
- ・毎日放送『世界ウルルン滞在記』（1981～1996）
・俳優やタレントが世界各地の家族にホームステイ、のべ688人が104の国と地域
→彼らの「自分探し」を見る。
- ・日本テレビ『進め！電波少年』（1992～1998）
・「ユーラシア大陸横断ヒッチハイク」（1996年4月13日から10月22日まで放送）
・猿岩石が香港からロンドンへ
→テレビが旅の状況を設定し、芸能人たちのリアリティを見る
・この流れは、『世界の果てまでイッテQ!』、『水曜どうでしょう』などへ

5. おわりに——ポストテレビ時代の映像ツーリズムへ

- ・「イメージによる旅」の変化
・テレビからインターネットへ
・YouTube、インスタグラム、Google ストリートビュー・・・
- ・新しいテレビジョン・ツーリズムの模索
・2015年～ TBS『クレイジージャーニー』
・2017年～ テレビ東京『ハイパーハードボイルドグルメリポート』
- ・ポストテレビ時代の映像ツーリズムの混沌へ
・2020年、緊急事態宣言。映像視聴の増加。Netflixの飛躍。
・Netflix オリジナルドキュメンタリー『世界の“現実”旅行 (DARK TOURIST)』（2018）

参考文献

- Boorstin Daniel (1962) *The Image; or, What Happened to the American Dream*, Atheneum: New York. (=1964, 星野郁美・後藤和彦訳 『幻影の時代——マスコミが製造する事実』東京創元社。)
- 遠藤英樹・橋本和也・神田孝治 (2019) 『現代観光学——ツーリズムから「いま」が見える』新曜社。
- 平尾浩一 (1980) 「地上最後の被写体 日中共同取材シルクロードへの挑戦」『放送文化』1980年1月号
- 上出遼平 (2020) 『ハイパーハードボイルドグルメリポート』朝日新聞出版。
- 兼高かおる (1963) 『兼高かおる世界の旅』講談社。
- 宮本常一 (1993) 『民俗学の旅』講談社。
- 日本放送協会編 (1977) 『放送五十年史』
- 日本放送協会編 (2001a) 『20世紀放送史 上』
- 日本放送協会編 (2001b) 『20世紀放送史 下』
- 日本放送協会編 (2007) 『NHKは何を伝えてきたか 新日本紀行——放送番組全記録一覧+番組公開ライブラリーリスト』
- 日本テレビ編 (1996) 『猿岩石裏日記』日本テレビ放送網
- ポール・ホッキングス・牛山純一編 (1979) 『映像人類学』日本映像記録センター。
- 猿岩石 (1996a) 『猿岩石日記 Part1 極限のアジア編』日本テレビ放送網
- 猿岩石 (1996b) 『猿岩石日記 Part2 怒涛のヨーロッパ編』日本テレビ放送網
- 「世界ウルルン滞在記」製作スタッフ編 (2008) 『永久保存版 世界ウルルン滞在記』ポプラ社。
- Urry John (2007) *Mobilities*, Cambridge: Polity. (=2015, 吉原直樹・伊藤嘉高訳『モビリティーズ——移動の社会学』作品社。)
- Urry John and Larsen Jonasen (2011) *The Tourist Gaze 3.0*, Sage Publications: London. (=2014, 加太宏邦訳『観光のまなざし [増補改訂版]』法政大学出版局。)
- 牛山純一 (1978) 「テレビ・ジャーナリズムの25年——ある体験的ドキュメンタリー論」『世界』392号。

テレビジョン・ツーリズムに関する主な番組

放送年	番組名	制作局	備考
1957-1963	北から南から	TBS	
1959-1990	兼高かおる世界の旅	TBS	前身番組『兼高かおる 世界飛び歩き』(1959-60)
1959-1960	アフリカ大陸に行く	NHK	その後、「東南アジアに行く」(1960)、「中南米に行く」(1960)、「中近東に行く」(1960-61)、「北米大陸に行く」(1961)
1960-1961	日本風土記	NHK	
1960-1985	自然のアルバム	NHK	
1961-1962	日本縦断	NHK	
1961-1962	日本発見	NET	
1962-1963	続日本縦断	NHK	
1963-1964	にっぽん風土記	TBS	
1963-1982	新日本紀行	NHK	
1963-1990	野生の王国	毎日放送	
1966-1990	日立ドキュメンタリー すばらしい世界旅行	日本テレビ	企画：中山純一
1970-	遠くへ行きたい	読売テレビ	
1972	私の感情旅行	TBS	『遠くへ行きたい』の海外版
1974-1975	未来への遺産	NHK	毎月1回1時間の特別番組。演出：吉田直哉
1975-1986	知られざる世界	日本テレビ	
1976-1986	水曜スペシャル(川口浩探検隊シリーズ)	テレビ朝日	
1977-1998	アメリカ横断ウルトラクイズ	日本テレビ	不定期
1980-1989	NHK特集 シルクロード		シルクロード 結城之路(1980-81)、シルクロード第2部 ローマへの道(1983-84)、海のシルクロード(1988-89)
1981-1996	なるほど!ザ・ワールド	フジテレビ	
1983-1990	世界まるごとHOWマッチ	毎日放送	司会：大橋昌典
1983-1994	クイズ地球まるかじり	テレビ東京	
1985-1988	ぐるっと海通3万キロ	NHK	
1986-	日立世界・ふしぎ発見!	TBS	
1987-	世界の車窓から	テレビ朝日	
1987	NHK特集 地球大紀行	NHK	
1988-1996	クイズ世界はSHOW by ショーバイ!!	日本テレビ	演出：五味一男
1989-1990	クイズ!地球の歩き方	朝日放送	
1989-1994	地球ZIGZAG	毎日放送	
1990-	世界まる見え!テレビ特捜部	日本テレビ	
1991-2000	新日本探訪	NHK	
1992-2002	生きもの地球紀行	NHK	その後『地球ふしぎ大紀行』(2001-2006)
1992-1998	進め!電波少年	日本テレビ	演出：土屋敏男、「ユーラシア大陸横断ヒッチハイク」(1996/4/13-10/22)
1992-	ぶらり途中下車の旅	日本テレビ	
1993-	朝だ!生です旅サラダ	朝日放送テレビ	
1993-2003	世界・わが心の旅	NHK	
1993-2009	どうぶつ奇想天外!	TBS	
1995-2007	世界ウルルン滞在記	毎日放送	
1995-	出発!アド街ック天国	テレビ東京	
1995-	酒瓶の家族に乾杯	NHK	
1996-	水曜どうでしょう	北海道テレビ	
1996-	世界遺産	TBS	『THE世界遺産』(2008-2015)、『世界遺産 THE WORLD HERITAGE』(2015-)
1998-2002	進め!電波少年	日本テレビ	
1999-2009	あいのり	フジテレビ	
2001-2016	欧州鉄道の旅	BSフジ	
2003-2010	田舎に泊まろう!	テレビ東京	
2004-	にっぽん紀行	NHK	
2005-	世界ふれあい街歩き	BSプレミアム	
2006-2012	ちい散歩	テレビ朝日	その後、『若大将のゆうゆう散歩』(2012-2015)、『ちい散歩』(2015-)へ
2006-	ダーウィンが来た!	NHK	
2007-	謎とき冒険バラエティー 世界の果てまでイッテQ!	日本テレビ	
2007-	モヤモヤさまぁ〜ず2	テレビ東京	
2007-	ローカル路線バス乗り継ぎの旅	テレビ東京	
2007-	秘密のケンミンSHOW	読売テレビ	その後、『カミングアウトバラエティ!!秘密のケンミンSHOW』(2020-)に改題
2008-	プラタモリ	NHK	
2008-2016	珍衝撃映像バラエティ ナニコレ珍百景	テレビ朝日	その後、『ナニコレ珍百景』(2018-)
2010-	東野・岡村の旅猿 プライベートでごめんなさい…	日本テレビ	
2010-2018	地球絶景紀行	BS-TBS	
2011-2020	NHKスペシャル ホット・スポット 最後の楽園	NHK	第1シリーズ(2011)、第2シリーズ(2014-2015)、第3シリーズ(2018-2020)
2012-2018	空から日本を見てみよう	テレビ東京	
2012-2020	世界ナゼそこに?日本人～知られざる波瀾万丈伝～	テレビ東京	
2013-2019	世界の村で発見!こんなところに日本人	朝日放送テレビ	
2015-2019	クレイジージャーニー	TBS	その後、2021年5月19日スペシャル
2017-2019	陸海空 こんな時間に地球征服するなんて	テレビ朝日	
2017-	出川哲朗の充電させてもらえませんか?	テレビ東京	
2017-	ハイパーハードボイルドグルメレポート	テレビ東京	

2021年現在